

第1回鳥取県産業人材育成強化会議の開催結果について

平成30年6月15日

雇用人材局産業人材課

人手不足をはじめとした県内の経済・社会動向を踏まえ、今後の県内産業を担う人材の効果的な育成の仕組みづくりや関係機関との役割分担及び連携体制について検討を行うため、第1回鳥取県産業人材育成強化会議を開催し、産業人材育成に係る課題認識や人材ニーズについて意見交換を行いました。

【鳥取県産業人材育成強化会議について】

(1) 目的

県内産業を担う人材の効果的な育成の仕組みづくり、関係機関との役割分担・連携体制の検討。

(2) 参加団体、機関

経済団体 : 鳥取商工会議所、倉吉商工会議所、米子商工会議所、境港商工会議所、
鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、(一社)鳥取県経営者協会
労働団体 : 日本労働組合総連合会鳥取県連合会
関係団体 : (公社)鳥取県観光連盟、(福)鳥取県社会福祉協議会、(一社)鳥取県情報産業協会、
鳥取県農業協同組合中央会、(一社)鳥取県建設業協会
教育機関等 : (大)鳥取大学、(大)公立鳥取環境大学、(学)藤田学院鳥取看護大学・鳥取短期大学、
(独)国立高等専門学校機構米子工業高等専門学校、(一社)鳥取県私立学校協会、
鳥取県職業能力開発協会
産業支援機関 : (地独)鳥取県産業技術センター、(公財)鳥取県産業振興機構
行政関係等 : 鳥取労働局、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構鳥取支部
※オブザーバー : 職業大高度訓練開発室

(3) ワーキンググループ会議

特に具体的な検討を要する分野・課題について別途調査・検討を行う。

【検討する分野等】 ①観光 ②ICT ③ものづくり ④介護 ⑤保育 ⑥農林水産業
⑦土木・建設・建築 ⑧専門職大学

1 第1回会議について

- (1) 日時 平成30年6月1日(金)午後3時～4時45分
(2) 場所 鳥取県立図書館 大研修室
(3) 出席者 経済団体、労働団体、関係団体、教育機関等、
産業支援機関、行政関係等、知事、商工労働部長ほか



2 第1回会議での主な意見

産業人材育成に係る背景と現状、今後の進め方について意見交換

(1) 背景、現状について

- ・中小企業では、早期離職等により人材育成のノウハウがなくなり、教育できる人材が不足。(経済団体)
- ・労働力人口が減少する中で、産業構造の転換(大量生産から開発系へのシフト)が必要。(教育機関)
- ・専門職大学は、既存の教育機関への影響がありうる。(教育機関)
- ・AIを用いた品質向上等、利益に繋がっていくことの理解が必要。(産業支援機関)
- ・全国的な傾向だが、小規模な企業ほど研修ができていない。(訓練機関)

(2) 今後の進め方について

- ・企業単独での人材育成が難しくなっているため、県・団体が協力して取り組むことが必要。(経済団体)
- ・医療福祉は特に離職率が高い。深掘りして議論していただきたい。(労働団体)
- ・ワーキンググループでは、介護と保育はそれぞれ分けて議論することが必要。(関係団体)
- ・将来の労働力人口の減少は深刻。鳥取県経済成長創造戦略を意識した目標が必要。(関係団体)

3 今後の予定

今後、事業所アンケートやワーキンググループ会議の実施などにより実態把握・検討を行いながら、10月を目途に人材育成のあり方等に関する方針をとりまとめていく。